

講座名	19世紀ロマン派のミサ曲 『神と向かい合った作曲家たち』出版記念
講師名	西原 稔(桐朋学園大学教授)
講座案内	<p>啓蒙主義やその後のフランス革命によってそれまで社会の中心に位置した教会の力が低下し、18世紀末に入ると作曲家が教会の音楽を作曲することは少なくなっていくますが、ロマン派の時代になると改めて宗教音楽が注目されるようになります。この2回の講座ではシューベルトとシューマンを取り上げ、二人の作曲家のあまり知られることない側面に光を当てます。二人ともピアノ作品や交響曲、歌曲、室内楽で知られますが、ミサ曲やレクイエムに目を向けたのは特別な意味があったに違いありません。講座ではそうした背景についても取り上げてまいります。(講師・記)</p>  <p>〈スケジュール〉 第1回 シューベルトのミサ曲 シューベルトは6曲のラテン語のミサ曲を含めて45作もの宗教作品を作曲しました。この回ではミサ曲第1番ととくに第6番を中心に取り上げます。 第2回 シューマンのミサ曲 シューマンは1852年にミサ曲とレクイエムを作曲しました。躍動的なピアノ作品からは想像もできない別の澄み切った世界の音楽です。その背景には何があったのでしょうか。</p> <p>〈参考図書〉『神と向かい合った作曲家たち ミサ曲とレクイエムの近代史 1745-1945』(音楽之友社) https://www.ongakunotomo.co.jp/catalog/detail.php?id=130350</p> <p>〈ご案内事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講座はオンラインセミナーアプリ「Zoom」ウェビナーを使ったオンラインでも、教室でも受講できるハイブリッド講座です(講師は教室)。パソコンやスマートフォン、タブレットでも配信を見ることができます。 ・本講座はメール登録のある受講者全員に後日アーカイブ動画(1週間限定配信)のリンクをお送りいたします。期間内は受講者は何度でもご視聴いただけます。 ・配布資料がある場合はメールでご案内いたします。郵送はしておりません。 ・開講日の前日夜までにメールアドレス登録のある受講者の皆様に講座視聴リンクと受講のご案内をメールでお知らせいたします。弊社からのメールが届かない事案が発生しておりますため、モバイルメールアドレス(docomo、ezweb、SoftBankなど)はなるべく使用しないようお願い申し上げます。メールが届かない場合は asaculonline001@asahiculture.com までお問合せください。 ・Zoomのソフトウェアを必ず最新版にアップデートの上ご覧ください。スマートフォンやタブレットで視聴する場合はZoomアプリを事前にダウンロードしてください。 ・ネット環境による切断やその他アプリの障害が起きた場合には、当社は責任を負いかねます。またやむを得ない事情により実施できなかった場合は、受講料の全額をお返しいたします。 ・第三者との講座視聴リンクの共有や貸与、SNSを含む他の媒体への転載、また、講座で配布した教材を受講目的以外で使用することは著作権の侵害になりますので、固くお断りいたします。

	<p>・オンライン講座の申し込みはWEB決済のみで承ります（開講日前日まで）。キャンセルは開講日の4日前まで承ります（手数料550円）。キャンセルの場合はasaculonline001@asahiculture.comまでご連絡ください。その後のキャンセルはできませんのであらかじめご了承ください。</p>
日程	2022/6/3, 6/17
曜日・時間	金曜 15:30～17:00
回数	2回
受講料 (税込)	会員 6,666円 一般 8,866円
設備費 (税込)	330円
その他	<ul style="list-style-type: none">・教室は変わる場合があります。10階と11階の変更もあります。当日の案内表示をご確認ください。・この講座の受講料には音楽使用料が含まれています。
講師詳細	<p>西原 稔(ニシハラ ミノル)</p> <p>山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士過程満期退学。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。18、19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」（以上、音楽之友社）、「ピアノの誕生」（講談社）、「楽聖ベートーヴェンの誕生」（平凡社）などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」（東京書籍）、監訳・共訳で「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」（平凡社）などがある。現在、シューマンとブラームスに関する著作に取り組んでいる。</p>